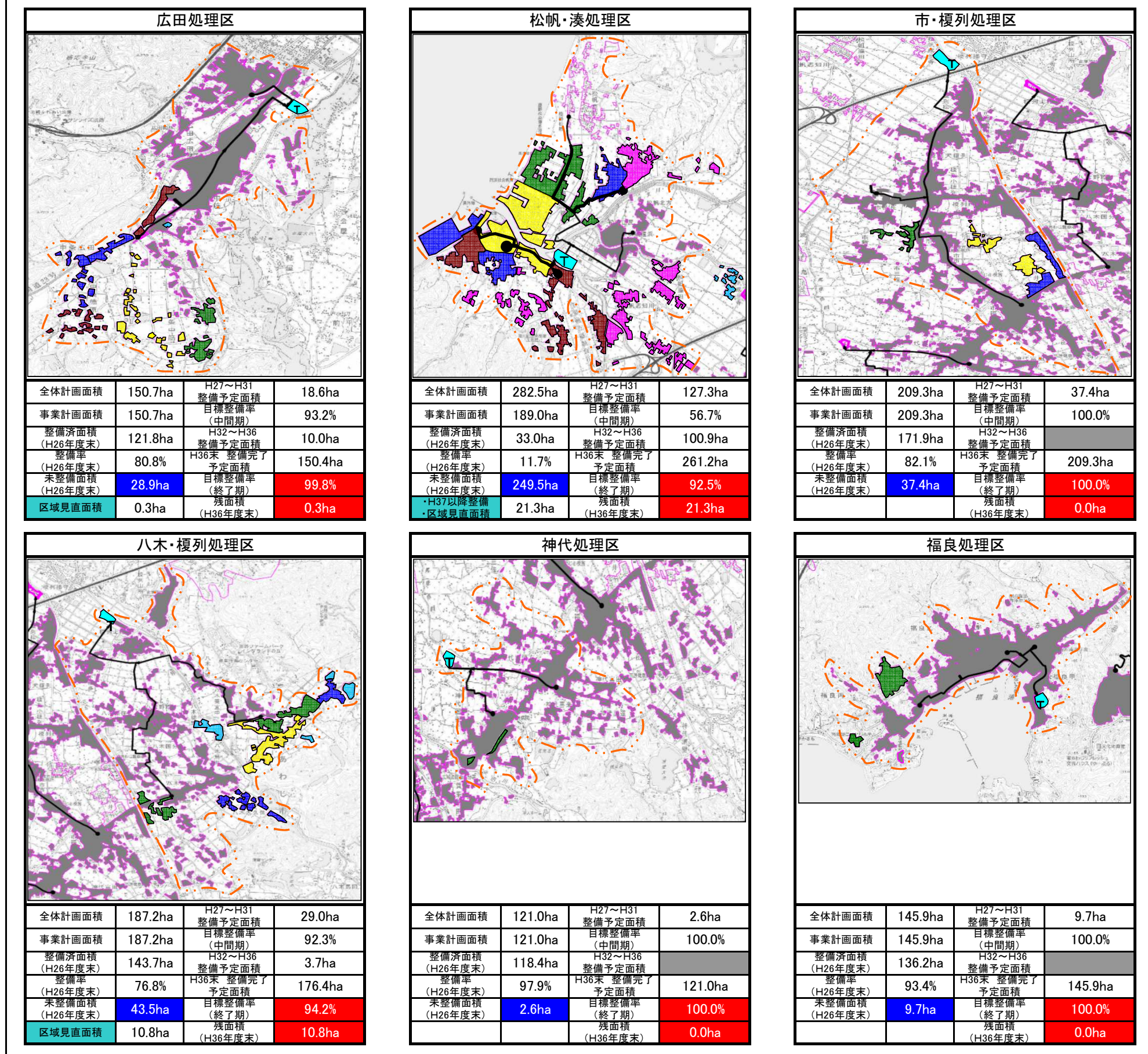


■手法毎の汚水処理整備区域(区域図)



■整備計画

① 整備スケジュール

計画区分	事業	整備事業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	備考	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36		
施設整備	下水道	未普及地域の整備												
		処理区名	広田処理区											
			松帆・湊処理区											
			市・榎列処理区											
			八木・榎列処理区											
			神代処理区											
福良処理区														
実行メニュー	共通	再生材の利用(RC・RAS)												
		小型マンホールの使用												

② 目標値及び実行メニュー

目標・内容等	全体	公共下水道(特環)	集落排水施設	浄化槽		その他(コミュニティ・プラント)	早期概成手法	備考(早期概成手法の内容)
				個人設置型	市町村設置型			
整備手法	整備人口(人)	6,990人	6,990人				区域見直し	【汚水処理対象人口】 既成造成地(合併浄化槽設置済)の区域並びに、未概成地区の意向を再確認し、合併浄化槽区域への移行などにより、区域見直しを図る。 【建設事業費】 再生材利用、小型マンホールの使用など、コスト構造改善プログラムを積極的に採用実施し、工事コストの縮減を図る。
目標値	整備面積(集合処理分)(ha)	339.2ha	339.2ha					
	汚水処理人口普及率(%)	82.9%	79.7%	100.0%	84.6%	100.0%		
		93.6%	92.6%	100.0%	91.4%	100.0%		
		98.5%	98.3%	100.0%	97.4%	100.0%		
	計画水量(m ³ /日)	24,544 m ³ /日	20,000 m ³ /日	3,655 m ³ /日		889 m ³ /日		
	計画汚泥量(t/日)	6.3 t/日	6.3 t/日					
ベンチマーク(指標)	【利用者側指標】 快適生活率(%)	アクション前	52.5%				「水循環・資源循環のみち2010」構想作成M	【統廃合】 市内24処理場を14処理場とする統廃合事業を計画・実施し、ライフサイクルコストの縮減を図る。加えて、長寿命化計画の策定・実施により、改築更新費を抑制し、下水道経営の健全化を図ることにより持続可能な下水道を構築する。
		中間期(H31)	59.1%					
		終了期(H36)	66.4%					
概算事業費	総建設事業費(百万円)	8,114 百万円	8,114 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	コスト縮減	統廃合
	年間維持管理費(百万円)	397 百万円	235 百万円	128 百万円	0 百万円	34 百万円		
	計	8,511 百万円	8,349 百万円	128 百万円	0 百万円	34 百万円		
	整備人口1人当たりの建設費用(千円/人)	1,218 千円/人	1,194 千円/人	0 百万円	0 百万円	0 百万円		
実行メニュー	再生材の利用(RC・RAS)	▲406 百万円	▲406 百万円					
	小型マンホールの使用							